

本学大学院へ進学予定の新4年生の方

令和7年度前期 「先行履修制度」について

「先行履修制度」は、本学大学院への進学を希望する学部4年生に大学院授業科目の履修を認める制度です。

修得した単位は、大学院で修得したものとして認められますので、大学院進学後に、修士論文の研究に専念したり、インターンシップや短期留学等の時間に充てるなどして、時間を有効活用することができます。

前期の先行履修を希望する場合は、次の内容をよく読んで、期日までに必要な手続きを行ってください。

【先行履修の要件】

- ・本学大学院への進学を予定している学部4年生であること
- ・3年次終了時点で110単位以上修得していること

【先行履修できる単位数】

- ・1セメスターあたり8単位まで

※先行履修する科目数は、学部の卒業研究と両立できるかを踏まえ、慎重に検討してください。

【先行履修できる授業科目】

別紙「令和7年度前期先行履修制度開講科目」を確認してください。

※進学を希望する専攻・コースで開講される予定の科目の先行履修をお勧めします。

【先行履修するための手続き】

4月2日(水)から4月8日(火)の期間中に、次の2点を事務局教務チームに提出してください。様式はイントラネット「教務担当からのお知らせ」にも掲載してあります。

- ・先行履修生入学願書
- ・先行履修生推薦書(指導教員に記入していただく書類)

問い合わせは事務局教務チームまで

○令和7年度前期先行履修制度開講科目(総合システム工学専攻進学希望者向け)

種類	コース等	授業科目	単位	週時間数	開講セメスター	備考
共通基礎 ・学際科目		感性情報と環境の心理※	2	2	1,3	
		知的所有権論A	2	2	1	
		信頼性工学A	2	2	1	
		リスク管理エンジニアリング	2	2	1	
専門科目	コース共通	輸送機械特論	2	2	1	
		データ駆動型社会論	2	2	1	
		再生可能エネルギー特論	2	2	1	
		3Dエンジニアリング	2	2	1	
	機械工学コース	固体力学	2	2	1	
		ナノ材料学	2	2	1	
		熱工学特論	2	2	1	
		機械構成論	2	2	1	
	知能メカトロニクス コース	プラズマ物理学	2	2	1	
		光機能デバイス工学	2	2	1	
		固体物性工学特論	2	2	1	
		ロボット工学特論	2	2	1	
	情報工学コース	画像情報学特論	2	2	1	
		情報数理論	2	2	1	
		自然言語処理	2	2	1	
		統計的信号処理	2	2	1	
	建築学コース	建築塑性論	2	2	1	
		建築構造解析論	2	2	1	
		建築荷重論	2	2	1	
		建築材料工学	2	2	1	
		木質構造実習	2	2	1	
		視環境・色彩計画学	2	2	1	
		建築設備設計論	2	2	1	
		都市防災学	2	2	1	
	経営システム工学 コース	都市・建築再生論	2	2	1	
		経営情報システム特論	2	2	1	
		数理最適化特論	2	2	1	
		応用確率統計特論	2	2	1	
		経営数理解析特論	2	2	1	
		経営経済学	2	2	1	
		システム構築論	2	2	1	
		環境リスク管理技術特論	2	2	1	
	ライフサイクルアセスメント	2	2	1		

備考 1 修了要件:

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目から6単位以上、専門科目から必修12単位を含む24単位以上を修得し、

うち10単位以上は所属するコースの専門選択科目から修得すること。

また、2単位以上を所属コース以外の専門選択科目(コース共通、他コース選択、他専攻、他研究科含む)から修得し、

かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。

- 2 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

○令和7年度前期先行履修制度開講科目(共同サステナブル工学専攻進学希望者向け)

種類	コース等	授業科目	単位	週時間数	開講セメスター	備考
共通科目	共通科目B	知的所有権論A	2	2	1	
		信頼性工学A	2	2	1	
専門科目	専攻共通	経営経済学	2	2	1	
		システム構築論	2	2	1	
		環境リスク管理技術特論	2	2	1	
		3Dエンジニアリング	2	2	1	
	エレクトロモビリティコース (輸送・機械システム)	ロボット工学特論	2	2	1	
	エレクトロモビリティ コース(要素技術)	ナノ材料学	2	2	1	
	社会環境システムコース (環境配慮設計)	ライフサイクルアセスメント	2	2	1	
	社会環境システム	環境・エネルギー工学	2	2	1	
	コース	風車工学	2	2	1	
	(再生可能エネルギー)	固体物性工学特論	2	2	1	

備考 1 修了要件:

必修科目15単位、選択科目15単位以上の合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格すること。
なお、選択科目の修得については次のとおりとする。

- ① 共通科目Aの外国語等科目又は専門科目の「Aero-Space Engineering I」・「Aero-Space Engineering II」から1単位以上修得すること。
 - ② 共通科目Aの倫理等科目から1単位以上修得すること。
 - ③ エレクトロモビリティコースの学生は、エレクトロモビリティコースの科目から4単位以上を修得すること。ただし、共通科目Aの外国語等科目として「Aero-Space Engineering I」・「Aero-Space Engineering II」を修得した場合、同科目の修得単位はこの要件の対象から除く。
 - ④ 社会環境システムコースの学生は、社会環境システムコースの科目から4単位以上を修得すること。
 - ⑤ 秋田大学と秋田県立大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を修得すること。
ただし、「地域産業プロジェクト演習」・「サステナブル工学特別研究」については、秋田県立大学の開設科目とすること。
- 2 修了要件の30単位に、両大学院の他専攻で修得した科目を4単位まで含めることができる。
- 3 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。